

知の復権をめざして IX

世界を編集する

- 手は世界を編集する(相澤照明)
- いかにして怪物を語るか?(相野毅)

10/27[木]

- 臨床知と徴候知——人文社会科学の知の展開(後藤正英)
- 「東北大凶作」の実態と対応(鬼嶋淳)

11/10[木]

- 音楽を楽器の音色や響きから理解しよう——バロック音楽の響きの世界について(高野茂)

11/17[木]

- 世界市民主義[コスモポリタニズム]v.s. 民主主義[デモクラシー](高橋良輔)

- 名前をめぐる闘争——リネームするという抗い(吉岡剛彦)

11/24[木]

- 〈恋愛〉の再編集——飼いならされた「愛」としての結婚制度について考える(相原征代)

- プロデュースのココロ——魅せる・乗せる・驚かせる流儀(上田政夫)

12/01[木]

- 徴候と予表／方法としての周縁——聖書の中のタブーの女たち(木原誠)

世界をせよ! 編集集

日時: 10月27日～12月1日の毎週木曜日
18:00～21:00 (11月3日は休み)

場所: 佐賀大学(本庄)文化教育学部
2号館2階「社会科演習室」

備考: 受講料無料／出入り自由

*お問い合わせ: 吉岡研究室(28-8274)

佐賀大学文化教育学部
公開講座 2011

世界を編集せよ!

佐賀大学文化教育学部2011年度公開講座

知の復権をめざしてIX

本講座は今回「世界を(再)編集する知」を統一テーマに掲げます。

私たちが暮らす社会や歴史を、どのように解釈＝構成(コンストラクション)するか、その全体的なレイアウト(配置や編成)の中に事象や人物、作品などをいかに配置し価値づけるかによって私たちが見ている「世界」の相貌はがらりと変化しうるものです。換言すれば、さまざまなヒト・モノ・コトをこれまでとは異なる角度から眺め直すこと、それらとつながっている他のヒト・モノ・コトとの関係を従来までとは別様に組み換えてみることをつうじて、私たちの〈生〉の営みを、より良い方向へと改善・変革していく糸口が見つかるかも知れません。そのように「世界を(再)編集していく知力」、すなわち「編集力」が現在ほど問われている時はありません。

本講座は、担当講師陣が、文学や、美学、音楽学、国際政治学、倫理学・宗教学、歴史学、社会学・ジェンダー学、法律学、デザイン&プロデュース論など、それぞれの専門領域から多角的・複眼的なアプローチを試み、その研究成果を市民の皆さんに対して広く公開します。

なお、本講座は、文化教育学部内の複数の講座をまたいで教員有志が連携・協働し、2003年度より継続してきたものであり、今回で9年目を迎えます。

[文責・吉岡]



Edit it!

*開講プログラム(日程や題目)は予告なく変更する場合があります。